

次期総合計画の概要(現計画との比較)

項目	第13次総合計画	第14次総合計画(案)	備考
名称	新・県都『あきた』成長プラン	第3期・県都『あきた』成長プラン	
計画期間	・H28年度～R2年度 ・5年間	・R3年度～R7年度 ・5年間	
体系	基本構想－推進計画 (5階層:基本理念－将来都市像－政策－施策－取組・事業)	同左	
基本理念	ともにづくり ともに生きる 人・まち・くらし ～ストップ人口減少 元気と豊かさを次世代に～	ともにづくり ともに生きる 人・まち・くらし ～元気と豊かさを次世代に 人口減少を乗り越えて ～	【案のねらい】 「ストップ人口減少」から変更することで、人口減少の抑制と、人口減少下にあっても持続可能な社会の実現に取り組むという意志を示すもの。
将来都市像	1 豊かで活気に満ちたまち 2 緑あふれる環境を備えた快適なまち 3 健康で安全安心に暮らせるまち 4 家族と地域が支えあう元気なまち 5 人と文化をはぐくむ誇れるまち	今後、新型コロナウイルス感染症の影響を見極め、必要な対応についても盛り込んでいく。	
成長戦略	1 地域産業の振興と雇用の創出 2 芸術文化・スポーツ・観光による都市の魅力向上 3 豊かな自然をいかした環境立市の確立 4 子どもを生き育てやすい社会づくり 5 いきいきと暮らせる健康長寿社会づくり		
推進計画	毎年度事業をローリングすることで内容を見直す	同左	
指標	推進計画の施策レベルで設定	同左	
策定体制	【庁外】 ・総合計画・地方創生懇話会 ①産業振興・雇用づくり分科会 ②地域資源活用・魅力向上分科会 ③子育て・健康長寿分科会 【庁内】 ・庁議 ・地方創生推進本部 ・総合計画・地方創生検討部会(若手職員による分科会を含む)	【庁外】 ・同左 【庁内】 ・同左 ・同左 ・同左(若手職員(秋田市出身の35歳未満)と県外出身職員(40歳未満)による分科会を含む(計12名程度)) ※委員は指名により選定	【若手・県外出身職員分科会の取組】 ①基本構想、推進計画、総合戦略、人口ビジョンの原案等をもとに議論を行い、検討部会で意見等を述べる。 ②5年間の計画期間内に実施する事業アイデアの検討を行い、関係部局に提案する。
人口減少	・喫緊の最重要課題として位置付ける ・人口減少対策に関する施策は、総合戦略に位置づける	・人口減少対策を「市政の最重要課題」とする ・同左 ※人口減少・移住定住対策課と連携し、人口ビジョンの改訂、次期総合戦略の策定と並行して行う	・現総合戦略策定から5年が経過し、「喫緊」という言葉を変更する。 ・次期総合戦略は、現総合計画と同様、総合計画の中の人口減少対策として必要な施策等を取り入れて策定する。(企画調整課と人口減少・移住定住対策課が連携して策定する。)